



# 「食べるくすり」を、ココロとカラダの元気に活かそう！ ～歴史と最新の科学で紐解く、知られざる食のヒミツ

私たちが口にする食は、栄養面のほか、健康を保つ重要なはたらきも持ちます。本講座では、食の歴史と科学を紐解きながら、農産物などに含まれる機能性成分の知見、腸管性炎症などの酸化ストレス誘導性疾患予防に向けた、県立大学 創造農学科での挑戦をご紹介します。

**企画教員** 黒川洋一 / 生物資源学部 准教授

**対象者** 高校生・大学生・一般

**講座形式** 対面

**会場  
定員** 会場：アオッサ：福井市地域交流プラザ5階 503研修室  
定員：20名

**第1回** 福井の食、現代の食のルーツを探れ！

**日時**：7月10日(金) 19:00～20:30  
**講師**：黒川洋一 / 生物資源学部 准教授

**第2回** 私たちのミライの健康を考える～食で病気は防げるか？

**日時**：7月17日(金) 19:00～20:30  
**講師**：黒川洋一 / 生物資源学部 准教授

**備考**：食の歴史と科学に関心がある方、食品成分のはたらきに関心がある方の参加をお待ちしています。

あなたの身近にいるけど、土の中なので人々の目に止まらないミミズ。冬も湿潤な日本海側はミミズに優しい環境と考えられ、もしかしたら特徴的なミミズの様子があることがわかってきました。ミミズの採集方法や分類手法を中心に、ミミズ研究談話会の専門家に2日間ご指導いただきます。

<b>企画教員</b>	角田智詞 / 生物資源学部 准教授	
<b>対象者</b>	高校生・大学生・一般・専門分野関係者	
<b>講座形式</b>	対面	
<b>定員</b>	定員：30名程度・先着順	
<b>会場</b>	会場：福井市自然史博物館	
<b>第1回</b>	講義「ミミズ学への招待・環形動物の系統とミミズ分類の基礎」 実習「ミミズの野外採集法および固定法」	<b>日時</b> ：9月 5日(土) 13:30 ~ 16:50 <b>講師</b> ：南谷幸雄 / 栃木県立学物館・学芸員 伊藤雅道 / 駿河台大学・教授
<b>第2回</b>	実習「日本産フトミミズ科普通種の種同定」	<b>日時</b> ：9月 6日(日) 9:40 ~ 15:00 <b>講師</b> ：南谷幸雄 / 栃木県立学物館・学芸員 伊藤雅道 / 駿河台大学・教授

## 受講に関する注意事項

- ・爽やかな顔でミミズを素手で触れられる方のみご参加ください。
- ・テキストや試薬消耗品代として参加費：一般4000円; 学生1000円。主催はミミズ研究談話会で、福井市自然史博物館と福井県立大学との共催です。
- ・昼食は各自ご持参ください



# 植物の病気の科学

人間と同じように、植物もいろいろな病気に罹ります。植物の病気は農業生産にも大きな影響を及ぼしますが、作物を守るためには病気の仕組みを知る必要があります。いくつかの植物の病気を紹介し、科学的な視点から、病気のメカニズム、植物が身を守るメカニズム、農薬の働き、などを解説します。

企画教員	仲下英雄 / 生物資源学部 教授	
対象者	中学生・高校生・大学生・一般・専門分野関係者（農業関係者・農業関連法人・企業）	
講座形式 定員	Zoom 30名	
第1回	<b>様々な病気と植物の自己防衛能力</b> いろいろな植物の病気の例を紹介し、それに対して植物が自分を守ろうとしている仕組みを紹介します。	日時：9月 5日(土) 20:00 ~ 21:00 講師：加藤久晴 / 生物資源学部 准教授
第2回	<b>植物の免疫の仕組みと利用</b> 植物のもっている免疫の仕組みを説明し、それを利用して植物を守る技術について紹介します。	日時：9月 12日(土) 20:00 ~ 21:00 講師：草島美幸 / 慶應義塾大学 助教
第3回	<b>植物と共生微生物の助け合い</b> 植物は様々な微生物と互いに良い関係で助け合って生きています。その中には動物とも似ているものもあります。その何例かを紹介して、生物が助け合って生きている仕組みを考えます。	日時：9月 19日(土) 20:00 ~ 21:00 講師：仲下英雄 / 生物資源学部 教授

# 代替食品開発への福井県立大学の挑戦

猛暑・洪水など環境変動が毎年起こり、食料品価格の高騰が止まらず、食料安全保障も危ぶまれる現在、日本はどのような戦略で将来に備えるべきなのでしょう？また代替食品は役に立つのでしょうか？この講座では、代替食品の開発原理と福井県産農産物を利用した生物資源学部 創造農学科の挑戦を紹介します。

企画教員	高橋 正和 / 生物資源学部 准教授	
対象者	高校生・大学生・一般	
講座形式 定員	Zoom 30名	
第1回	代替食品開発への福井県立大学の挑戦	日時：8月 1日(土) 10:00 ~ 10:45 講師：高橋正和 / 生物資源学部 准教授

# 植物生理学（植物とCO<sub>2</sub>濃度の関係）

本学で開講している植物生理学Ⅱのいくつかの講義を、一般向けに改変してなるべくわかりやすく話します。  
講義というより、気軽に聞いていただければ幸いです。

<b>企画教員</b>	林 潤 / 生物資源学部 創造農学科 准教授	
<b>対象者</b>	高校生・大学生・一般	
<b>講座形式 定 員</b>	Zoom 30名	
<b>第1回</b>	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の取り込みと放出①、その他 (光合成するためのエネルギーは?)	<b>日時</b> ：7月 22日(水) 20:00~21:00 <b>講師</b> ：林 潤 / 生物資源学部 准教授
<b>第2回</b>	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の取り込みと放出②、その他 (植物は光合成しながら呼吸もしています)	<b>日時</b> ：7月 29日(水) 20:00~21:00 <b>講師</b> ：林 潤 / 生物資源学部 准教授

# 「同位体で読み解く空・陸・海・深海の つながりと物質の流れ」

「魚付き保安林」に象徴されるように、陸と海の間は古くから知られています。では、実際にそれらはどの用に影響しあっているのでしょうか？本講座では、化学的な指標である「同位体」を手がかりに、大気から陸、沿岸、外洋、深海へと至る物質の流れや循環を地球システムの視点から捉え、生態系同士の結びつきを解説します。

<b>企画教員</b>	土屋正史 / 学部：恐竜学部 職：教授	
<b>対象者</b>	中学生・高校生・大学生・一般	
<b>講座形式 定員</b>	Zoom 50名	
<b>第1回</b>	生き物と環境の見えない繋がりを探るには？—講座の概要と同位体の基礎—	<b>日時</b> ：7月 7日(火) 20:00 ~ 21:00 <b>講師</b> ：土屋 正史 / 恐竜学部 教授
<b>第2回</b>	コケ植物から見た陸の生態系と水・大気の繋がり	<b>日時</b> ：7月14日(火) 20:00 ~ 21:00 <b>講師</b> ：大石 善隆 / 恐竜学部 教授
<b>第3回</b>	地下水と生物から見た陸と沿岸の繋がり	<b>日時</b> ：7月28日(火) 20:00 ~ 21:00 <b>講師</b> ：杉本 亮 / 海洋生物資源学部 教授
<b>第4回</b>	回遊魚類から見た外洋と陸の繋がり	<b>日時</b> ：8月18日(火) 20:00 ~ 21:00 <b>講師</b> ：松林 順 / 海洋生物資源学部 准教授
<b>第5回</b>	深海生物から見た海の表層と海底下との繋がり	<b>日時</b> ：9月 1日(火) 20:00 ~ 21:00 <b>講師</b> ：土屋 正史 / 恐竜学部 教授